

## ●令和5年（2023年）の日本の地震活動

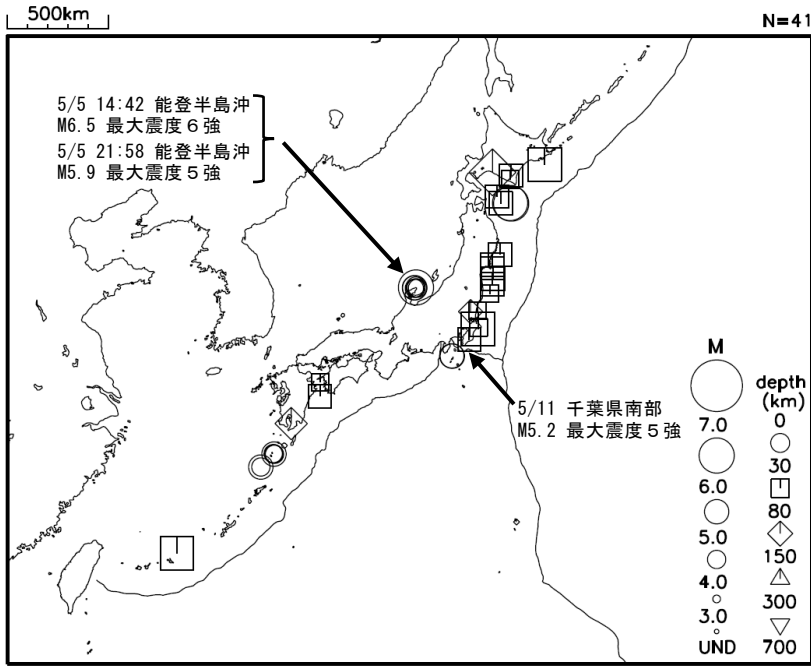


図1 2023年に最大震度4以上を  
観測した地震の震央分布図  
最大震度5強以上を観測した地震に矢印を付けた

### 〔概況〕

2023年に国内で被害を伴った地震は4回<sup>(注1)</sup>（2022年は7回）発生した。このうち、死者・行方不明者を伴った地震は、5月5日14時42分に能登半島沖で発生した地震（M6.5）<sup>(注2)</sup>の1回であった（2022年は1回）。

震度1以上を観測した地震は2,227回<sup>(注3)</sup>（2022年は1,964回）、最大震度4以上を観測した地震は41回（2022年は51回）、最大震度5弱以上を観測した地震は8回（2022年は15回）であり、2023年中に観測した最大の震度は、5月5日14時42分に能登半島沖で発生した地震（M6.5）で観測された震度6強であった（図1）。

M6.0以上の地震は19回（2022年は19回）発生した。過去105年間の地震回数の中央値が16回であることから、ほぼ平均的な発生回数であった（図4）。2023年中で最大規模の地震は、12月28日に発生した択捉島南東沖の地震（M6.6）であった（図2）。

日本で津波を観測した地震（海外で発生した地震を含む）は、5月5日14時42分に能登半島沖で発生した地震（M6.5）、10月5日に鳥島近海で発生した地震（M6.5）、10月6日に鳥島近海で発生した地震（M6.0）、10月9日04時頃から06時台にかけて鳥島近海で発生した地震活動及び12月2日にフィリピン諸島、ミンダナオで発生した地震（Mw7.5）の5回であった（2022年は1回）（図4）。また、大津波警報、津波警報、津波注意報の発表をした地震は、10月5日に鳥島近海で発生した地震（M6.5、津波注意報）、10月9日04時頃から06時台にかけて鳥島近海で発生した地震活動（津波注意報）及び12月2日にフィリピン諸島、ミンダナオで発生した地震（Mw7.5、津波注意報）の3回であった。

（注1）5月5日14時42分及び同日21時58分に発生した能登半島沖の地震については、生じた被害がどちらの地震によるものか区別できないため合わせて1回として扱った。

（注2）気象庁はこの地震を含めて2020年12月以降に石川県能登地方で発生している一連の地震活動について、令和6年1月1日にその名称を「令和6年能登半島地震」と定めた。

（注3）10月9日04時頃から06時台にかけての鳥島近海の地震活動に伴い観測されたT相<sup>(注4)</sup>によるものと考えられる震度を除く。

（注4）地震波が海底面で音波に変換され海中を伝わったもの。

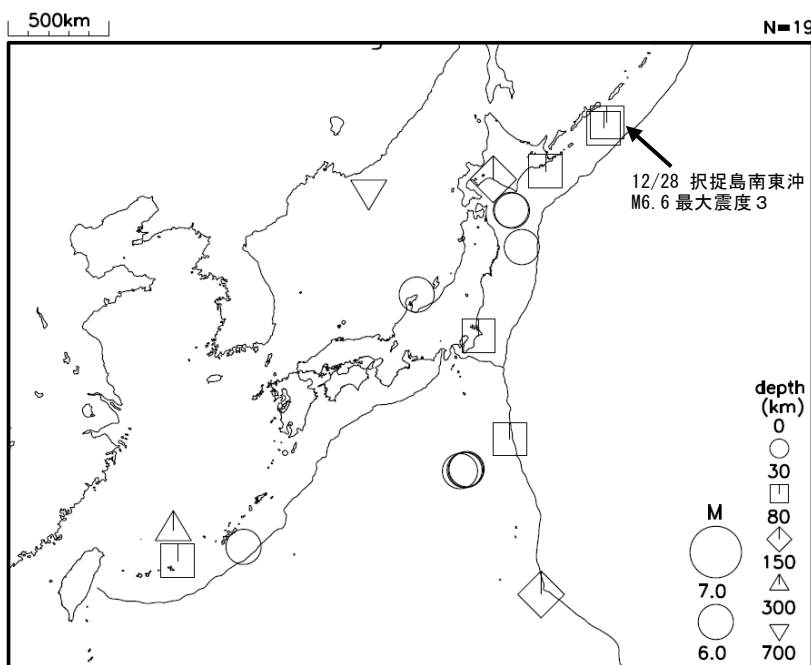
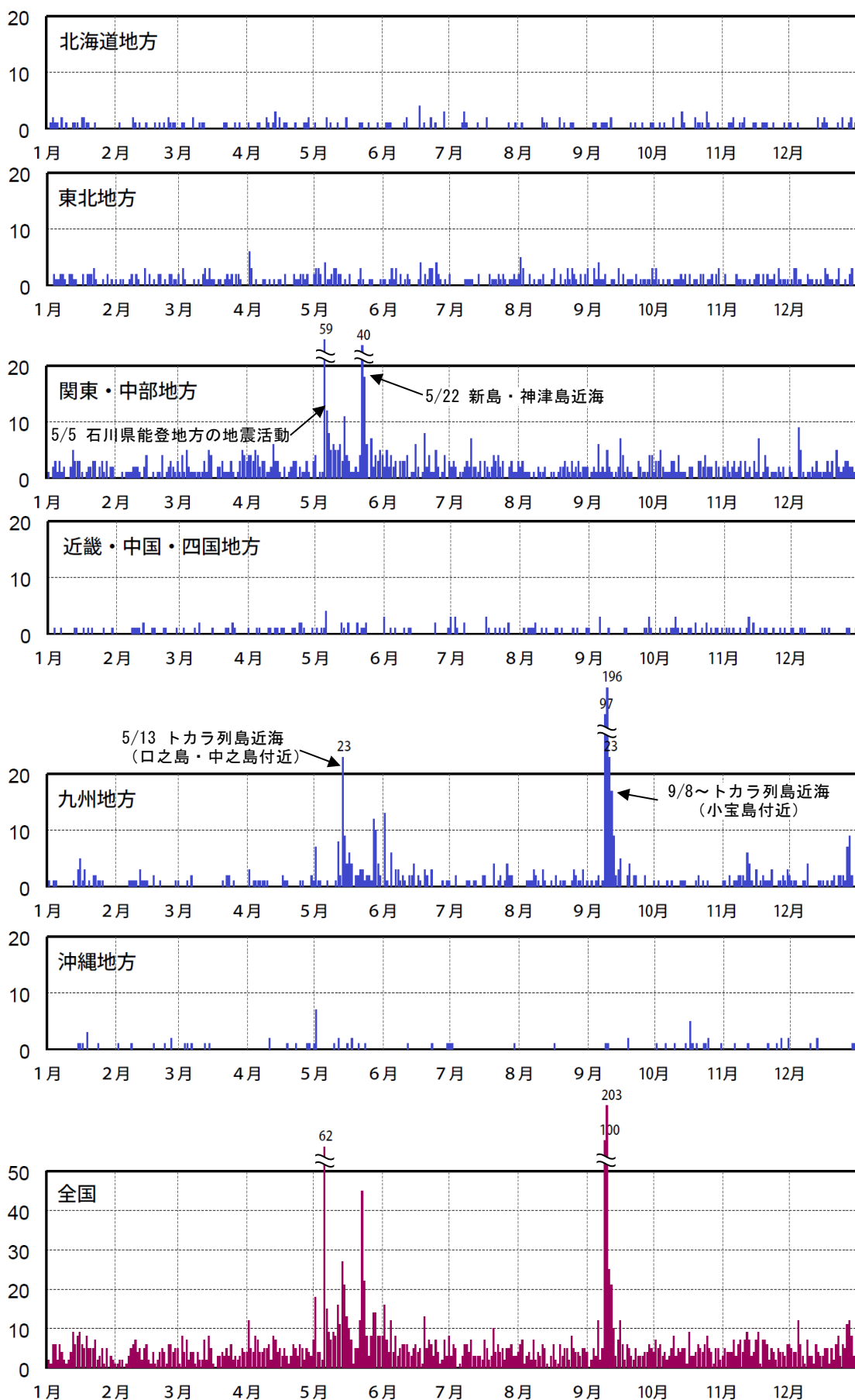


図2 2023年に発生した  
M6.0以上の地震の震央分布図  
2023年中で最大規模の地震に矢印を付けた



2023年の1年間に最大震度4以上を観測した地震回数（最大震度別）

最大震度	回数
4	33
5弱	5
5強	2
6弱	0
6強	1
7	0
合計	41

図3 2023年に震度1以上を観測した日別回数（全国及び各地方別）

6つの地方（北海道地方、東北地方、関東・中部地方（三重県を含む）、近畿・中国・四国地方、九州地方及び沖縄地方）に分割した。

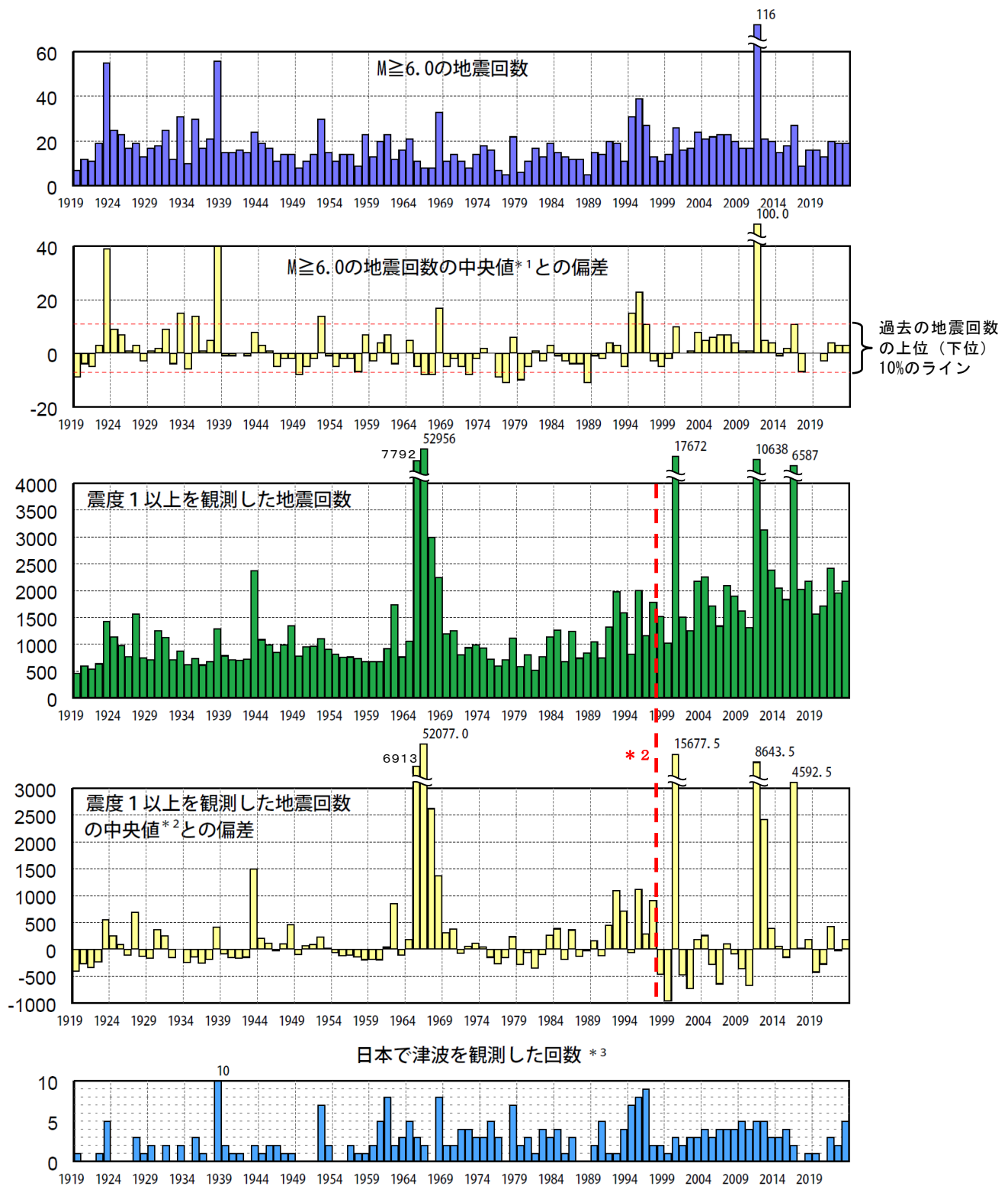


図4 全国の M $\geq$ 6.0 及び震度1以上を観測した地震の年別回数、津波を観測した年別回数（1919-2023年）

\*1 M $\geq$ 6.0の過去105年間（1919～2023年）の中央値は16回／年であった。  
 \*2 震度1以上を観測した地震の回数を比較するにあたっては、近年、震度観測点が増えたことを考慮する必要がある。ここでは、地方公共団体の震度計のデータを活用開始した時期（1997年11月）を考慮し、1998年を区切りとして、その前後で各々中央値を求めて比較した。なお、中央値からの偏差が大きい1965～1967年には松代群発地震、2000年には新島・神津島の地震活動、2011年には「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」、2016年には「平成28年（2016年）熊本地震」が発生している。  
 \*3 海外で発生した地震及び火山噴火による潮位変化を含む。集計には、験震時報、気象庁技術報告、その他気象庁が取りまとめた資料の他、Iida(1984)、渡辺(1998)を利用している。また、過去の津波を観測した地震回数については、津波の観測点数や観測手法等が異なるため、各年代をそのまま単純比較することはできないことに留意する必要がある。  
 Iida, Kumizi(1984) : Catalog of tsunamis in Japan and its neighboring countries, Aichi Institute of Technology. 52 p.